

SecureDoc Enterprise Server

リリースノート

製品バージョン: 9.1 HF3

2024年2月

(Rev 1.0)

目次

本リリースバージョンについて.....	2
システム要件.....	3
KnownConfigs.XML ファイルについて.....	4
プログラム(プロダクト)名、用語について.....	5
新機能および機能強化.....	6
MagicEndpoint.....	6
IdP.....	6
改善された問題.....	7
SES.....	7
SESWeb.....	7
SecureDoc Enterprise for Windows.....	7
制限事項.....	8
SES.....	8
IdP.....	8
サポートが必要なお客様.....	9
連絡先.....	9

本リリースバージョンについて

このドキュメントには、本バージョンに関する重要な情報が含まれており、全体を確認されることを強くお勧めします。最新バージョンでは、過去の不具合の修正及び新機能の追加など、製品が強化されています。改善された機能、安定性のための修正プログラム、セキュリティの強化のために、最新のバージョンをインストールして、利用されることを強くお勧めします。

バージョン	リリース日	EOL (End of Life)	ビルド情報
9.1 HF3	2024年2月16日	2026年11月11日	Build# 9.1.003.1365

旧バージョンについて

バージョン	リリース日	EOL (End of Life)	ビルド情報
9.1 HF2	2023年12月14日	2026年11月11日	Build# 9.1.002.1354
9.1 HF1	2023年11月23日	2026年11月11日	Build# 9.1.000.1352
9.1	2023年11月11日	2026年11月11日	Build# 9.1.000.1349
9.0 SR4	2023年5月9日	2026年5月7日	Build# 9.0.400.60 Build# 9.0003.103 (macOS)
9.0 SR3	2023年3月2日	2026年3月1日	Build# 9.0.300.118 Build# 9.0003.103 (macOS)
9.0 SR2	2022年12月9日	2025年12月8日	Build# 9.0.200.207 Build# 9.0002.198 (macOS)
9.0 HF1	2022年9月7日	2025年3月30日	Build# 9.0.001.1053 (Windows クライアントのみ)
9.0 SR1	2022年7月21日	2025年7月21日	Build# 9.0.100.149 Build# 9.0001.73 (macOS)
9.0	2022年3月31日	2025年3月30日	Build# 9.0.000.1047 Build# 9.000.1030 (macOS)
8.6 SR1 HF2	2021年7月19日	2024年3月30日	Build# 8.6.102.171 Build# 8.6001.85 (macOS)
8.6 SR1	2021年3月31日	2024年3月30日	Build# 8.6.100.148 Build# 8.6001.85 (macOS)

注 Hotfix の EOL は、そのベースとなるバージョンまたはサービスリリースと同じです。

注 EOL を迎えたバージョンはテクニカルサポート終了となります。

※ 旧バージョンのリリースノートは、以下のサイトでご確認ください。

<https://www.winmagic.com/jp/support/jp-release-notes>

システム要件

SecureDoc Enterprise Server 及び SecureDoc クライアントのシステム要件:

<https://winmagic.com/ja/data-security-support-jp/system-requirements/>

デバイスの互換性:

<https://winmagic.com/en/data-security-support/device-compatibility/>

SecureDoc Enterprise Server

注 SES の DB 作成に必要な SQL のインストールでは、「機能の選択」で、「検索のためのフルテキスト抽出とセマンティック抽出」をインストールしておく必要があります。

フルテキスト検索については、マイクロソフトのサイトで、ご確認ください

注 SES コンソールの機能を適切に使用するためには、SES コンソールが稼働しているサーバーや管理用デスクトップマシンなどにおいて、少なくともローカルの管理者権限を持っている必要があります。

Active Directory の OU をインポートする場合、ドメインにログインするアカウントは管理者権限が必要です。

注 Azure Active Directory (Azure AD) の使用を希望するお客様は、v9.0 以降の SES が必要です。

旧バージョンの SES では Azure AD はサポートされません。

旧バージョンの SecureDoc クライアントのデバイスを使用されている場合、AzureAD に参加させる前に、v9.0 以降のクライアントにアップグレードする必要があります。

SecureDoc Enterprise for Windows

注 v9.1以降、**32bit OS** はサポートされません。**Legacy BIOS**モードはサポートされません。

注 MagicEndpoint を利用する場合、MagicEndpoint をインストールする前に、SecureDoc クライアントソフトウェアをインストールし、デバイスを SecureDoc Enterprise Server (SES) に登録する必要があります。

注 MagicEndpoint を利用するデバイスでは **TPM 2.0** が必要です。

注 キーファイルを TPM 保護する場合、**TPM 2.0** が必要です。TPM 1.2 及びそれ以前のバージョンはサポートされません。

Bluetooth (Bluetooth Low Energy) 接続のスマートフォン (モバイルトークンベース) をプリブート認証で利用したいお客様へ

注 Windows 10 または Windows 11 のみのサポートです。

注 プリブート認証プログラムは **PBLU** を選択してください。PBU では利用できません。

注 コンピュータのハードウェア構成 (UEFI 設定) で Bluetooth を有効にしてください。

SecureDoc Enterprise for FileVault2

注 macOS Mojave、Catalina はサポートしていません。

注 macOS Sonoma (日本語環境) には対応していません。将来のバージョンで対応予定です。(対応時期未定)

その他

SecueDoc Essential for Windows は、旧バージョンの v9.0 SR3 より廃止されています。

KnownConfigs.XML ファイルについて

Windows デバイスへのSecureDoc のインストールで、個別の設定が必要なデバイスについて情報が得られると、ウィンマジックは、そのデバイスに必要な設定内容をKnownConfigs.XML ファイルに追記します。

通常、SES で作成したWindows デバイス向けSecureDoc クライアントのインストールパッケージには、KnownConfigs.XML が含まれています。クライアントへのインストール時にインストーラーがデバイスを検知し、KnownConfigs.XML 内にそのデバイスを見つけた場合、記述されている設定内容に従ったインストールを自動でおこないます。

KnownConfigs.XML によって、特定のデバイスにおける既知情報の知識を必要とせず、インストール時における問題を回避することができます。

※ 最新のKnownConfigs.XML ファイルについては、製品をご購入いただきました販売代理店へお問合せください。

KnownConfigs.XML ファイルの変更方法：

1. Windows Explorer から c:\Program Files(x86)\WinMagic\SDDDB-NT に移動します。
2. 次に、*.xml のように XML ファイルを検索します。
3. 検索結果リストを名前別にソートします。
4. KnownConfigs.XML ファイルが見つかった各ディレクトリで、最新の KnownConfigs.XML と置き換えます。

注 KnownConfigs.XML ファイルは、ウィンマジックのみがその開発および機能強化する権利を保持しています。お客様による KnownConfigs.XML ファイルの変更起因するサポートを要求される場合、ウィンマジック独自の裁量で追加のサポート費用を請求することがあります。

ウィンマジックは、KnownConfigs.XML を拡張および向上する方法についてのお客様からのアイデアや提案を歓迎していますが、ウィンマジックは、多くのお客様にとって利益になると考えられる KnownConfigs.XML に対する変更、テスト、承認、および公表する唯一の権利を保持します。

プログラム(プロダクト)名、用語について

プログラム名

- SES** ... SecureDoc Enterprise Server の略称、SecureDoc クライアントを管理します。
- SESWeb** ... SecureDoc Enterprise Server Web コンソール(SDWeb と記載している場合があります)
- SDConnex** ... クライアントとの通信をおこなう通信プログラム

機能名

- PBA** (Pre-boot Authentication) ... プリブート認証 (OS 起動前の認証)
- RME** (Removable Media Encryption) ... リムーバブルメディア暗号
- RMCE** (Removable Media Container Encryption) ... リムーバブルメディアコンテナ暗号
- SFE** (SecureDoc File Encryption) ... SecureDoc ファイル暗号
- DAC** (Disk Access Control) ... ディスクアクセスコントロール
- Port Control** ... ポートコントロール

Windows デバイスのプリブート認証(PBA)プログラムについて

- PBL** (Pre-boot for Legacy) ... Legacy デバイス向け、PBA プログラム
- PBU** (Pre-boot for UEFI) ... UEFI デバイス向け、デフォルトの PBA プログラム
- PBLU** (Pre-boot for Linux UEFI) ... UEFI デバイス向け、Linux ベースの PBA プログラム

Windows サインインの認証方法について

- SDCP** (SecureDoc Credential Provider) ... サインインに SecureDoc Credential Provider を利用

プリブートネットワーク認証について

- PBN** (Pre Boot Network) ... プリブート認証で、ネットワークを利用すること
- PBNA** (Pre Boot Network Authentication) ... プリブート時に、SDConnex と接続しネットワーク認証する
- PBConnex** ... SDConnex を使用して、ネットワーク認証をおこなう機能

BitLocker 管理について

- SDBM** (SecureDoc for Bitlocker Managment) ... BitLocker の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム
- SDBL** (SecureDoc for BitLocker) ... BitLocker 標準機能のプリブートを使用し、SES で管理する
- SDOT BL** (SecureDoc on top for BitLocker) ... BitLocker 向け SecureDoc のプリブート認証プログラム

File Vault2 管理について

- SDFV2** (SecureDoc for FileVault2) ... FileVault2 の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム

Linux 管理について

- SDLinux** (SecureDoc for Linux) ... Linux の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム

その他

- SDOSA** (SecureDoc for OSA) ... OSA (Operating System Agnostic)
TCG Opal ディスク用のプリブートプログラム
オペレーティングシステムを選びません。
- MagicEndpoint** ... FIDO2 に対応した認証アプリケーション

※ 以降、SecureDoc を【SD】、MagicEndpoint を【ME】と表記している場合があります。

新機能および機能強化

MagicEndpoint

リファレンス	説明
SD-47111	<p>Android 向け MagicEndpoint アプリケーションの強化</p> <p>Android 向け Authenticator の MagicEndpoint アプリケーションに、OTP(ワンタイムパスワード)のための番号照合機能を実装しました。OTP 検証と数値入力の検証をシームレスに統合することが可能となりました。</p>

IdP

リファレンス	説明
SD-47032	<p>セキュリティとポリシー機能の強化</p> <p>新たに「モバイルロックアウトを有効にする」機能が含まれ、管理者はロックアウトの期間を指定できます。ロックアウトされたユーザーの解除をするインターフェースも追加されており、スムーズなユーザーエクスペリエンスを実現します。</p> <p>認証を要求しているサービスプロバイダーの表示、番号照合システムの実装、拒否後の電子メールによるプッシュ通知の設定など、セキュリティとポリシー機能を強化しました。</p>
SD-47039	<p>モバイルロックアウトおよびユーザーのブロック解除機能</p> <p>ユーザーがプッシュ通知を拒否した場合に、プッシュ通知を制限する機能を実装しました。ユーザーが通知を受け入れることを期待して、攻撃者がユーザーのスマートフォンに通知を大量に送信する潜在的なソーシャルエンジニアリング攻撃を防ぐために重要な機能となります。</p> <p>IdP の「Configuration/Global」に、「Enable mobile lockout」という機能が追加されています。管理者はモバイル拒否の最大数を指定し、ロックアウト期間を分単位で設定でき、ブロック解除を容易にするユーザーフレンドリーなインターフェースが実装されています。</p>
SD-47040	<p>Cloudflare の CAPTCHA インテグレーション「Turnstile」によるセキュリティ強化</p> <p>IdP の「Configuration/Global」に「Turnstile」を有効にするオプションを追加しました。セキュリティ強化のために、モバイルプッシュを介したアプリケーションのログイン中にキャプチャ入力を義務付けることが可能となります。</p> <p>「Turnstile」を有効にすると、Internet Explorer ではモバイルプッシュを使用してログインできなくなることに注意が必要です。</p>
SD-47041	<p>モバイルデバイス登録に関するセキュリティ強化</p> <p>新しいスマートフォンの再登録に進む前に、現在登録されているスマートフォンでプッシュ通知を受け入れることをユーザーに要求するソリューションを実装しました。</p> <p>ユーザーはスマートフォンを変更する前に、登録済のスマートフォンで身分を認証する必要があります。</p> <p>スマートフォンを持たないユーザーの場合は、新しくスマートフォンを登録するためのコードを電子メールで受け取る代替えオプションもあります。</p>

改善された問題

SES

リファレンス	説明
SD-46956	<p>BitLocker で暗号化されたデバイスを対象とした「Crypto Erase」機能</p> <p>BitLocker で暗号化されたデバイスを対象とした「Crypto Erase」機能を利用できるようになりました。SES コンソール及び SES Web コンソールから実行することができます。</p>

SESWeb

リファレンス	説明
SD-47056	<p>脆弱性の分析と対応</p> <p>脆弱性の評価と分析によって対応しています。</p>

SecureDoc Enterprise for Windows

リファレンス	説明
SD-47278	<p>【PBLU】 BLE (Bluetooth Low Energy) 認証でハングアップが発生する</p> <p>スマートフォンを使ったプリブート認証に成功した後、ハングアップが発生する事象が報告されました。原因は、多数の BLE 信号がある環境で、BLE スレッドが繰り返しチェックをおこない継続的なループによって、システムスレッドがタスクを完了することを妨げていることでした。</p> <p>この問題は、v9.1 HF3 で修正されています。 ループの動作を制御する方法が追加されており、多くの BLE 信号がある環境でも、継続的なループによって引き起こされるシステム スレッドの長時間にわたる遅延を防ぎます。</p>
SD-46756	<p>チャレンジレスポンス後に、エラー"PBA returned 134"が表示される場合がある</p> <p>パスワード リカバリの長さをデフォルト設定の 10 から 32 に変更した場合、チャレンジレスポンス実行後、エラー"PBA returned 134"が表示される。エンターキーを押すと再起動となり、起動できない。デフォルト設定の 10 では問題は発生しません。</p> <p>SES Global Option > Password recovery length: 32</p> <p>この問題は、v9.1 HF3 で修正されています。</p>

制限事項

SES

リファレンス	説明
SD-46800	<p>AD / AzureAD と同期したまま SES をアップグレードすると、エラー1921 が表示される</p> <p>ADSync、SDConnex 等のサービスを停止した後は、アップグレードできる。</p> <p>「SecureDoc Enterprise Server Version 9.1 リファレンス マニュアル」で、「8.旧バージョンからの SES アップグレード」に記載しているとおり、各サービスを停止してからアップグレードを実行してください。</p>

IdP

リファレンス	説明
SD-47158	<p>IdP のインストールに関する問題</p> <p>.NET が既にインストールされているサーバーへ IdP のインストールを実行すると、途中で停止する。インストールに失敗した後、再度インストールを実行すると正常にインストールできる。</p> <p>下記の.NET がインストールされている環境で問題が発生することを確認していますが、.NET をアンインストールせずとも IdP の再インストールを試みると正常にインストールできます。</p> <p>ASP.NET Core Runtime 6.0.4-win-x64 .NET Runtime 6.0.4-win-x64 .NET SDK 6.0.301-win-x64</p> <p>将来のバージョンで修正する予定です。</p>

サポートが必要なお客様

弊社製品をご購入いただきました販売代理店によって、問い合わせ窓口が異なります。

サポートが必要なお客様は、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。

既に SecureDoc をご利用いただいております、アップグレードに関するサポートが必要なお客様も、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。

連絡先

ウィンマジック・ジャパン株式会社

〒105-0022

東京都港区海岸 1-2-3

汐留芝離宮ビルディング 21 階

電話番号：03-5403-6950

URL：<https://www.winmagic.co.jp/>

<https://winmagic.com/ja/home-jp/> (グローバル)

営業担当者へのお問い合わせ：sales.jp@winmagic.com

テクニカルサポート：support.jp@winmagic.com

謝辞

本製品では、Antoon Bosselaers、Hans Dobbertin、Bart Preneel、Eric Young (eay@mincom.oz.au)、そして Rijndael AES アルゴリズムの開発者である Joan Daemen および Vincent Rijmen によって開発された暗号化ソフトウェアが使用されています。

「本製品では、OpenSSL Toolkit での使用を目的として、OpenSSL Project (<http://www.OpenSSL.org/>) によって開発されたソフトウェアが使用されています。」

ウィンマジックは、このプロジェクトの開発者によるソフトウェアの提供に対して、ここに感謝の意を表します。

©Copyright 1997 - 2023 by WinMagic Corp. All rights reserved.

Printed in Canada

カナダおよび米国では、多くの製品、ソフトウェアおよびテクノロジーが輸出規制の対象となっています。

ウィンマジックの製品の場合、お客様ご自身でこれらの規制の詳細を理解して戴く必要があります。

ウィンマジック製品の輸出と再輸出は、カナダ国境サービス庁 (CBSA) と、アメリカ合衆国商務省産業安全保障局 (BIS) のそれぞれが管理する、カナダおよびアメリカ合衆国の法律の規制を受けます。

より詳しい情報は、ウィンマジックの Web サイトまたは関係省庁の Web サイトで、ご確認ください。

WinMagic、SecureDoc、SecureDoc Enterprise Server、Compartmental SecureDoc、SecureDoc PDA、SecureDoc Personal Edition、SecureDoc RME、SecureDoc Removable Media Encryption、SecureDoc Media Viewer、SecureDoc Express、SecureDoc for Mac、MySecureDoc、MySecureDoc Personal Edition Plus、MySecureDoc Media、PBConnex、SecureDoc Central Database および SecureDoc Cloud Lite は、米国およびその他の国における WinMagic Corp. の商標です。

本文中のその他の社名、製品名等は、各社の商標、または登録商標です。

© 2023 WinMagic Corp. All rights reserved.

このドキュメントは、情報提供のみを目的としています。

ウィンマジックは、明示的にも暗黙的にも、このドキュメントについて保証を一切しません。

ここに記載されているすべての仕様は、予告なしに変更されることがあります。